

R1M シリーズ		
取扱説明書	積算カウンタ入力 4 点、接点入力 8 点、接点出力 8 点 PC レコーダ	形 式
		R1M-P4

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

- ・本器は一般産業用です。安全機器、事故防止システム、生命維持、環境保全など、より高い安全性が要求される用途、また車両制御や燃焼制御機器など、より高い信頼性が要求される用途には、必ずしも万全の機能を持つものではありません。
- ・安全にご使用いただくために、機器の設置や接続は、電気的知識のある技術者が行って下さい。

■梱包内容を確認して下さい

- ・ PC レコーダ1 台
 - ・ 通信ケーブル (9ピン、Dサブストレートケーブル) ..1 個
 - ・ CD (ソフトウェアと操作説明書)1 枚
 - ・ AC アダプタ1 個
- ただし AC アダプタは BR2 電源時のみ付きます。

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は PC レコーダ本体の取扱い方法、外部結線について記載したものです。添付の CD にある操作方法の説明を良くお読みの上、正しくご使用下さい。

ご注意事項

●供給電源

- ・ 許容電圧範囲、電源周波数、消費電力
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。
- 交流電源：定格電圧 100 ～ 240 V AC の場合
85 ～ 264 V AC、47 ～ 66 Hz、約 10 VA
定格電圧 100 V AC の場合
100 V AC、47 ～ 66 Hz、約 10 VA
- 直流電源：定格電圧 24 V DC の場合
24 V DC $\pm$ 10 %、約 7 W

●取扱いについて

- ・ 本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および入出力信号を遮断して下さい。

●ソフトウェアについて

- ・ PC レコーダソフトウェアはお手元にある最新バージョンをご使用下さい。

●設置について

- ・ 屋内でご使用下さい。
- ・ 塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・ 振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・ 周囲温度が -5 ～ +60℃ (AC アダプタ付は 0 ～ 40℃) を超えるような場所、周囲湿度が 30 ～ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。
- ・ 配線などで本体の通風口を塞がぬようご注意下さい。

●配線について

- ・ 誤配線は機器に損傷を与える可能性があります。
- ・ ケーブルを可動部に使用したり、強く引っ張らないで下さい。
- ・ 配線は、ノイズ発生源 (リレー駆動線、高周波ラインなど) の近くに設置しないで下さい。
- ・ ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●その他

- ・ 本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

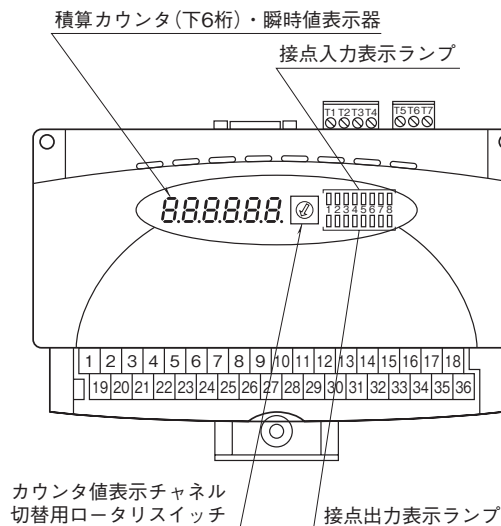
必要システム（お客様ご用意）

■MSRPAC-2010

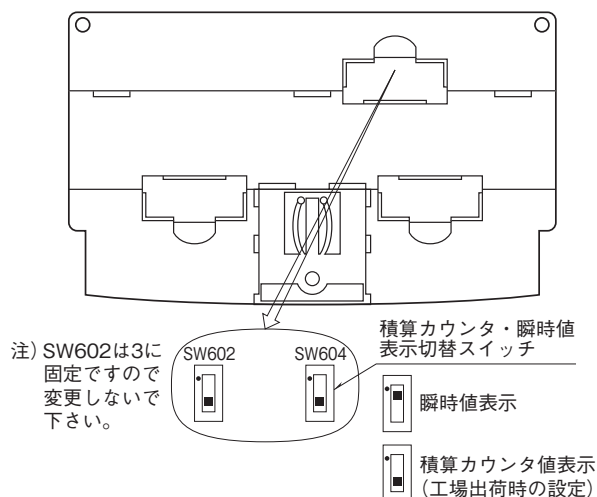
MSRPAC-2010 の内容および PC レコーダソフトウェアに必要なシステム（お客様ご用意）については、MSRPAC-2010 仕様書をご参照下さい。

各部の名称

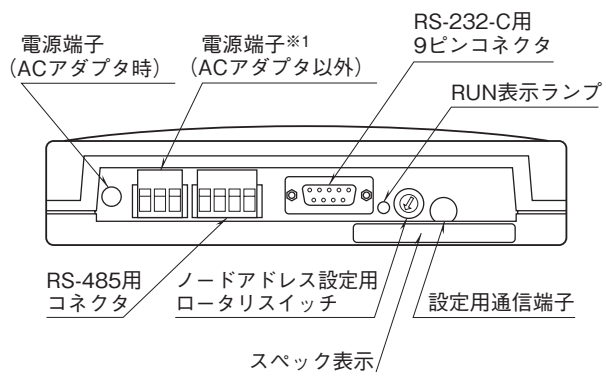
■上面図



■下面図



■背面図

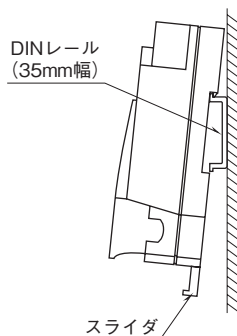


※1、ACアダプタ付の場合は付きません。

取付方法

■DIN レール取付の場合

本体はスライダのある方を下にして下さい。
スライダを引出し、フックをDIN レールに掛けて下さい。
DIN レールに押しつけた状態でスライダを元に戻して下さい。



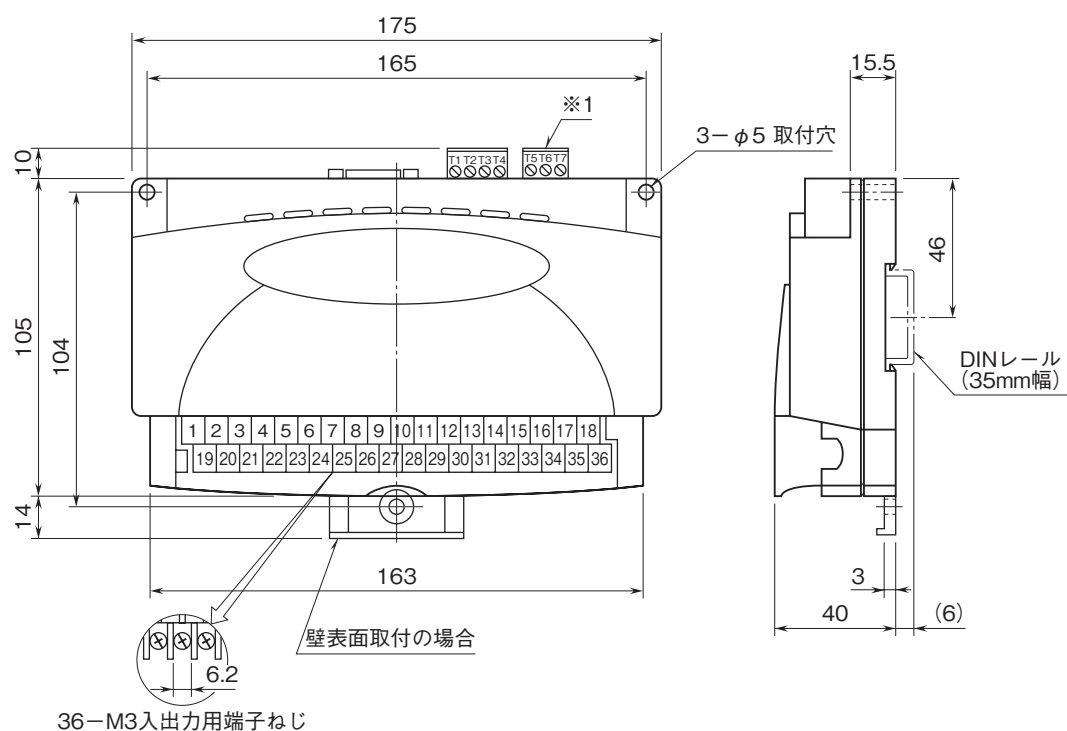
■壁取付の場合

本体はスライダのある方を下にして下さい。
スライダを引出し、外形寸法図を参考に取付けて下さい。

接 続

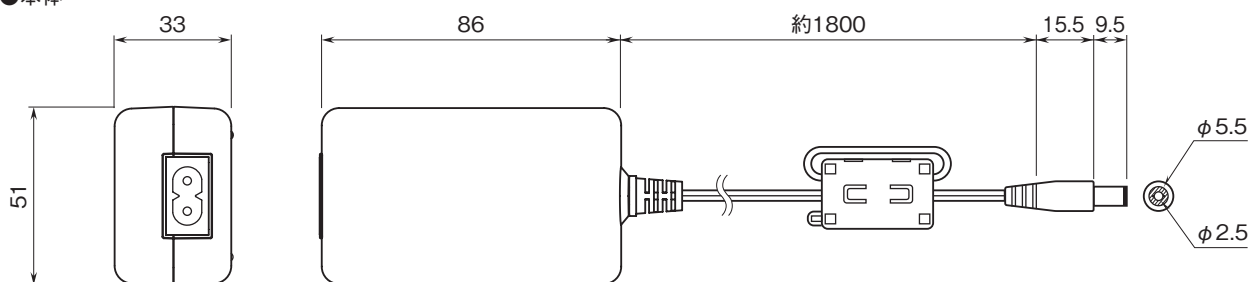
各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

外形寸法図 (単位 : mm)

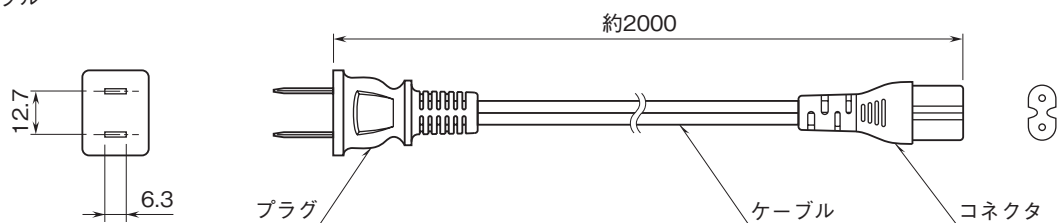


※1、ACアダプタ付の場合は付きません。

- ACアダプタ
- 本体



- ケーブル

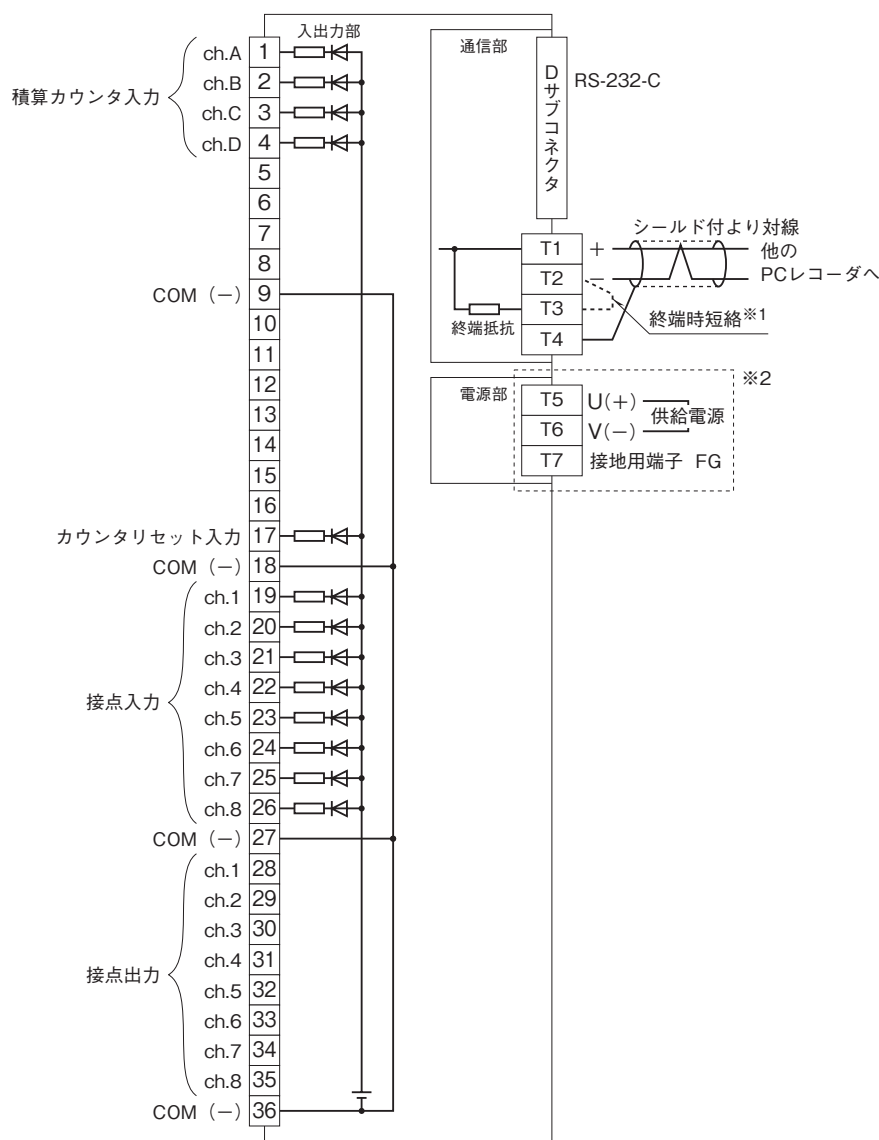


RS-232-C インタフェース



略号	ピン番号	機 能	説 明
SD	2	送信データ	本器から送られるデータ信号
RD	3	受信データ	本器に送られるデータ信号
SG	5	信号用アース	信号用アース
CS	7	送信可	本器へのデータ送信許可
RS	8	送信要求	送信要求の信号
	1	接続不可	信号の中継など、他の用途に使用しないで下さい。
	4		
	6		
	9		

端子接続図



※1、より対線の伝送ラインが終端の場合は(=渡り配線がない場合)、端子T2、T3間を付属のショートチップ(または配線)で短絡して下さい。
ユニットが伝送ラインの途中に配線されているときは、端子T2、T3間のショートチップをはずして下さい。

※2、ACアダプタ付の場合は、ジャックが付きません。

注1) 端子番号5～8、10～16には何も接続しないで下さい。誤接続は故障の原因になります。

注2) FG端子は保護接地端子 (Protective Conductor Terminal) ではありません。

配 線

■M3 ねじ端子（入出力信号）

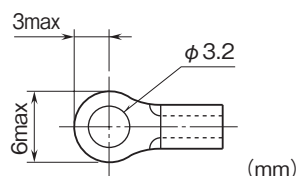
締 付 ト ル ク：0.6 N・m

●圧着端子

圧着端子は、下図の寸法範囲のものを使用して下さい。
また、Y形端子を使用される場合も適用寸法は下図に準じます。

推奨圧着端子：R 1.25-3（日本圧着端子製造、ニチフ）

適 用 電 線：0.75 ～ 1.25 mm²

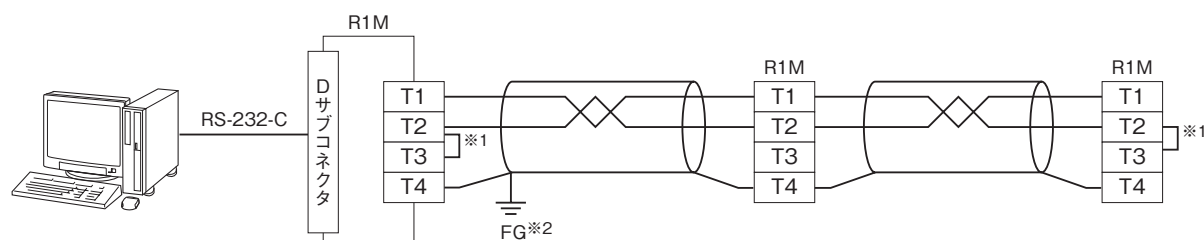


■コネクタ形ユーロ端子台（供給電源・通信）

適 用 電 線：0.2 ～ 2.5 mm²

剥 離 長：7 mm

通信ケーブルの配線



※1、回路の終端となる場合に、内部の終端抵抗を使用します。

※2、シールド線は、ノイズ保護のために全て接続し、1か所で接地します。

点 検

①端子接続図に従って結線がされていますか。

②供給電源の電圧は正常ですか。

ACアダプタ付でない場合は、端子番号 T5 - T6 間を
テスタの電圧レンジで測定して下さい。

保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、
万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出
荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返
送いただければ交換品を発送します。